

▼ラスビック錠 [内], ▼ラスビック点滴静注キット [注]

【重要度】 【一般製剤名】ラスフロキサシン塩酸塩 (LSFX) Lascufloxacin Hydrochloride 【分類】キノロン系経口抗菌剤

【単位】▼75mg錠, ▼150mg/V (薬液 24mL+専用希釈液 76mL)

【常用量】

■1日1回 75mg

■点滴静注：投与初日に300mg, 投与2日目以降は150mgを1日1回

【用法】1日1回

【透析患者への投与方法】常用量 (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】常用量 (1) 腎機能低下例ではFが低下するためか、Cmax やAUCが低くなる (1)

【特徴】上気道, 下気道, 耳鼻科系の感染症に適用されるキノロン剤

【主な副作用・毒性】ショック, アナフィラキシー, 白血球減少, 間質性肺炎, QT 延長, 低血糖, 偽膜性大腸炎, アキレス腱炎, 肝機能障害, 横紋筋融解症, 痙攣, 錯乱, 大動脈解離など

【安全性に関する情報】注射薬は経口剤に比べて高用量設定であり, 禁忌設定が広がっている (1)

【吸収】酸性度が弱くなると溶解度が大きく低下 (1)

【F】100% (1)

【tmax】2.5hr (1) 300mg 点滴でCmax 3 μ g/mL (1)

【代謝】CYP3A4 で脱シクロプロピル体代謝 (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率 14.2% [iv, 72hr まで] 17.5% [iv], 8.38% [po, 144hr まで], 代謝物を含め尿中回収率 45% [iv], 40% [po] (1) P-gp の基質 (1)

【CL/F】7.63 \pm 1.40L/hr (1) 5.9~6.7L/hr [iv] (1)

【t1/2】14~16hr (1)

【蛋白結合率】74% (1)

【Vd/F】151 \pm 24.7L/man (1) 2~3L/kg (1)

【MW】475.89 [塩酸塩]

【透析性】資料なし (1) 効率は高いものの除去されると思われる (1)

【薬物動態】AUC (0-24) /MIC > 15 がターゲット (1)

【O/W 係数】6.4 [1-オクタノール水系, pH7.0] (1)

【相互作用】CYP2C8 及び CYP3A4 を時間依存的に阻害 (1) 金属カチオン, NSAIDs, CYP3A4 誘導剤, QT 延長などの相互作用あり (1) MATE1 及び MATE2-K を阻害 (1) P-gp の基質 (1)

【肝障害患者への投与方法】

【小児 CKD 患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【更新日】20241026

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、

直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。